

平衡対ケーブルを使うPCM-24 / 24B方式

PCM24 system based on balanced pair cables

既設の平衡対ケーブルを使用するPCM-24方式は、短距離搬送方式に代わって大量に導入され、近距離市外回線のコストを削減、全国自動即時化に貢献した。その後、半導体集積回路の技術が進み、IC化中継器、国際規格のIC化端局装置の開発によって1972年に商用化されたPCM-24Bは国際的にも高く評価され、盛んに輸出された。

PCM24B方式の概要

Overview of PCM-24B system

項 目		PCM-24B 方式
適用ケーブル		心線径0.5、0.65、0.9mm 市内、市外、紙 PEFケーブルなど
伝送路クロックレート		1.544Mbps
最大回線長		100km
総合符号誤り率		10^{-6} 以下 10^{-9}
中継間隔		2km(標準)
伝送符号		AMI
中 継 器	回路構成	3R機能HIC+トランジスタ
	消費電力	約1,000mW/2way
	信頼性	1,400Fit以下/2way
	雷防護	3極および2極避雷管
給 電	給電方式	100mA定電流
	最大給電電圧	235V
	最大給電区間	20km
伝送路監視		無 し